



宮田中だより 2022年6月号



電話 045-331-5288

行事の大切さとできる喜び

副校長 佐藤直博

二年生の里山体験学習・三年生の修学旅行が無事終わりました。二年・三年生は宮田中学校へ入学してから、新型コロナウイルス感染拡大の影響により校外学習ができませんでした。現在、感染者は減少の兆しはありますが、完全ではない状況の中、保護者の皆様のご理解とご協力により感染対策を講じながら実施することができました。ありがとうございました。

さて、里山体験学習では、スタートから天候が心配でしたが、子供たちが体験を行う時に雨が上がるなどの現象が度々あり、おかげ様でほぼ予定通りに行うことができました。また、民宿や村の方々に様々な配慮していただきました。寒い小雨の中、魚つかみや田植えをして帰ってきたら、すぐにお風呂に入れるように準備していただいたり、林業・田植え体験では安全に配慮しながら一つひとつ丁寧に教えてもらい活動できました。そのおかげで体調不良者やけが人もありませんでした。

最終日には民宿の方々とほうとうを作り、食べました。退村式のときには、到着した時の雰囲気や顔つきも穏やかになり、民宿の方々とも家族のような暖かい会話をしていました。全体的に子供たちが班長を中心に主体的に行動できたことが成長だと思いました。来年の修学旅行につながる里山体験学習でした。

修学旅行では、朝早い集合で少し心配していましたが、時間通りに集まり、予定通りスタートしました。三年生は宮田中学校入学後初めての宿泊学習なので朝からテンションは高く、空港で飛行機を見たら一段と元気になっていました。

宮田中学校の修学旅行の一番の主となる活動は平和学習です。1年生から平和学習を積み重ねてきました。修学旅行では、現地で生の話を聞き、本物を見て学習できました。また、原爆資料館へ奉納する折鶴アートや折鶴の塔へ奉納する鶴をみんなで平和を祈念しながら準備、作成してきました。当日は平和学習実行委員を中心に折鶴や折鶴アートを奉納し平和宣言を行いました。さすが3年生、落ち着いた雰囲気に参加していました。二日目は班別研修(市内散策)を行いました。班によっては計画通り行かずルート変更をするなどありましたが、班員で相談しながら対応していました。最終日には長崎に古くから伝わる競争艇(ペーロン)に乗り貴重な体験をしました。帰りの空港では「まだ帰りたくない」「今まで話したことのない子と友達になれた」などの会話が聞かれました。今回、学んだことや経験を生かし、成功体験を自信に変えて一回りも二回りも成長してほしいです。

最後に、出発した時よりも帰ってきた時の方が、顔つきが良くなったと感じました。たくましい姿や楽しそうに生き生きと行動や姿を見ていると、我々職員も改めて校外学習での体験や経験は必要な行事であり、素晴らしさや大切さを再認識しました。そして子供たちが成長するためにはこれからもできるだけ多くの経験の場を作り、社会に出たときに生かせる機会を作りたいと思いました。これからも様々な行事を計画しております。ご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

2年生 里山体験（山梨県）

経験したこと・感じたことを忘れずに

6/16(月)～18(水)で行われた2年生の里山体験学習。
今までコロナ禍で校外学習ができなかったこともあり、
子どもたちが楽しく活動している姿を見て本当に嬉しい気持ちになりました。
魚つかみ体験・林業体験・田植え体験・ほうとう作り体験、どの体験も新鮮で、自然を感じることができる素晴らしいものでした。
また、班のメンバーだけで宿に泊まるという経験は本当に貴重な時間だったと思います。自分だけではなく周りのことを考えて行動する大切さを体験でき、何より宿の方の温かさを感じてくれたと思います。
里山体験学習で経験したこと・感じたことを一瞬で終わらせず、これからの生活に活かしていきましょう。

2学年主任 川島 裕樹



～未来に向けて考える～ 自然の大切さ

里山体験学習



里山日記～里山で得たもの～

「林業体験」

私達赤学年は、入学後初の校外学習として山梨県道志村へ2泊3日の里山体験学習に行きました。
道志村は緑豊かな村で、川の中で素手で魚をとったり泥まみれで田植えをしたりと横浜では出来ないような自然を使った体験を行いました。初の体験にみんな最初は「怖い」「やばい」と驚いていましたが、最後は誇らしい顔で各体験をやりきる事ができました。
また、今まで話していなかった人と関わる機会にもなりました。宿舎や活動中に話すことで仲を深め、新しい友人関係を築く良い機会になりました。
今は事後学習として班ごとに各体験についての壁新聞を作っています。楽しみにしててください！

里山体験学習実行委員長 2年 2組 氏名 神崎 円花



「田植え体験」



3年生 修学旅行（長崎県）

感謝



5月23日（月）～24日（水）に長崎修学旅行へ行ってきました。
1日目は、さるくガイドさんとともに遺跡見学、「命ありて」一人芝居鑑賞、原爆資料館見学。2日目は、平和集会、班別自主行動。3日目はペーロン体験とクラス別にペンギン水族館、歴史文化博物館見学を行いました。どれも心打つ体験でした。

我々青学年72期生は、中1の校外遠足、中2の里山体験学習が中止になりました。そんななか、今まで積み上げてきた平和学習の集大成として、修学旅行を実施できたことを嬉しく思います。それは3年生の皆さんの日頃から取組と、3年生の活動に理解協力をしてくださった方々のおかげです。本当にありがとうございました。最高学年として、修学旅行での貴重な体験から「自分の思う平和」をこれからも考え続けて欲しいと思います。

3学年主任 林 麻衣子



「平和集会の様子」



「原爆資料館に寄贈した折鶴アート」

「だけ」で終わらせない

初夏の風が吹き抜ける季節になりました。
私たち3年生は5月23日から26日までの3日間平和学習の一環として、原爆が落とされた2つの地域のうちの一つ、長崎に修学旅行へいきました。
修学旅行を通し、僕は1,2年生に伝えたいことができました。それは、「楽しかっただけでは終わらせない」です。修学旅行には楽しいことはたくさんあります。けれど、それだけでなく、学ぶことも大事にして意味のある3日間を過ごしてほしいです。これは修学旅行だけに言えることではないと思います。何事も「楽しいだけ」で終わらせずに、ほかの学校行事も取り組んでいきましょう。



「ペーロン体験」

修学旅行実行委員長 3年1組 氏名 神 涼介

学級目標紹介

各クラスの学級目標です。これから行われる予定の遠足(1年生)、体育祭、文化祭などに向けてこの目標のもとクラスで頑張ってもらいたいです。

1-1

「誠心誠意」～嘘偽りなく、まごころを込めて、物事を行う～

1-2

「1人1人が大切なピース 1年2組のパズルをみんなで1つに」

1-3

「波を乗り越えろ」～どんな課題でもみんなで協力して頑張れるクラス～

2-1

「Keep」

(K・・・kind heart 心の優しい・思いやりのある e・・・effort 努力 e・・・esteem 尊重する p・・・peace 平和)

2-2

「狂い桜」(みんなの個性が良い意味で咲き乱れていくように)

2-3

「無限実行」(みんなで何事も実行して、やり遂げるクラスを目指す)

3-1

「Planetarium」～一人一人が輝く素直な人間に～

3-2

「One for all All for one」～メリハリのある最高!学年!～

3-3

「一笑懸命」～楽しんだもの勝ち～

3-4

「愛屋及鳥」～つまらないものなんて何もない。すべてを愛しみ大切にしよう!～

5組

「みんなで明るく楽しい努力5組」